

在学留学報告書 (半年留学)

●基本情報

留学開始年度	2022	留学種別	交換
留学先国	ベルギー	留学先大学名	トマス・モア応用科学大学
本学での所属学部(研究科)・学科・専攻			
国際関係学部		国際関係学科	
出発時の年次	学部4年次		
留学期間(実際の渡航期間)	2022	年	9 月～ 2023 年 2 月

●認定留学の方への質問

どのように留学先を選びましたか？
留学先決定後、渡航までの手続きの為に留学斡旋業者を利用しましたか？
<input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用した (会社名: _____ 仲介手数料 _____ 円) <input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用しなかった (以下の質問には回答不要)
どのように業者を選定しましたか？

●渡航までの準備

1. 入学申請

授業料は支払いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)	
授業料総額:	_____ 円
授業料総額のうち渡航前に支払った金額合計:	_____ 円
支払い方法:	

2. ビザ申請

ビザ申請先	
<input checked="" type="checkbox"/> 在日大使館/領事館等 <input type="checkbox"/> その他 (_____) <input type="checkbox"/> 現地に到着してから申請 (申請の場所: _____)	
必要書類	
<p>ビザ取得は非常に手間がかかって正直大変だったのでベルギー行きが決まったら即座にビザ取得と家探しに動くことをお勧めします。ビザは東京の大使館でしか取れません。原本のセット1部とコピーのセット2部を用意する必要があります。: パスポート原本・コピー、証明写真3枚、外務省のアポステリーユ付き無罪証明書、Medical Certificateの原本1部・コピー2部(ベルギー大使館HPにある病院一覧から選ぶのが無難、ちなみに¥3万程します)、トマスモアからの入学許可書のコピー3部、京産の英文在学証明書原本1部・コピー2部、英文CV(簡単な履歴書)原本1部・コピー2部、Language form原本1部・コピー2部、ベルギーにおいて保険に入っているかの証明書原本1部・コピー2部、親または自分を賄ってくれている人の収入証明原本1部・コピー2部(保証人が必要のため。源泉徴収票や通帳コピーを出す必要があります…)、(書類ではないですがビザ申請のためにベルギーの移民局に¥3万程administrative feeというものを払いその領収書が要ります、また大使館現地でも¥3千ほどビザ申請代金として支払います。)</p> <p>また申請時に保証人が同行する必要がありました。</p>	
取得にかかった期間 (申請してから要した期間)	・取得費用
大使館で申請した2週間後にビザができたという連絡があり、実際に自宅に届いたのは3週間後でした。	申請費用のみ: 10万、大使館までの交通費×2人分
具体的な申し込み手順 (例: 必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請に行く→ビザ発行後受け取りに行く。)	
<p>在日ベルギー大使館HP>Coming to Belgium>Viza for Belgium>Types of Visas>D Visa(Long stay+90days)>Studies- higher education 以上から何が必要かチェックしてみてください。VOWの提出をするところと大使館予約をするフォームからしかできなかったため、ある程度必要書類が集まったら、最大渡航の1カ月前までには大使館予約をして保証人と共に直接東京に申請しに行ってください。(←自身のパスポート原本を提出するので。)</p>	
ビザ申請の際の面接	
<input type="checkbox"/> 面接有 (質問の内容 / 言語等: _____) <input checked="" type="checkbox"/> 面接無	

ビザ申請の際の注意点やアドバイス	
ベルギー行きが決まったらすべてを逆算して、自分でできるだけ早く動いてください。病院・警察・ベルギー側の事情など自分が急いだと ころでどうしても時間がかかってしまうからです(ベルギーで生活してみればその時の理由がなんとなく分かるようになります笑)。またビ ザのことで分からないことがあれば英語で大使館に直接メールしましょう。何に困っているのかを明確にしてメールしてください。1週間 以内には大概返信がありました。またビザをゲットしても現地に到着した後、ベルギー市民としてのIDカード(滞在許可証)を自分の住む市 役所で申請する必要があります。	
現地でビザの延長申請を行いましたか？	
<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった (以下1~5には回答不要)	
1.申請先	
2.申請時期	
3.必要書類	
4.具体的な手続き	
5.注意点等	

3. 住居の確保

どのように住居を見つけましたか？	
親戚の知り合いの家にホームステイしていました	
住居の申し込み手順	
渡航前に支払った費用とその内訳	
費用：	円
内訳：	
住居のタイプ	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
月額400€、4階建ての1軒まるまるがそのご家族の家で1階に共有キッチン、2階に夫婦の部屋・リビング・書斎、3階に子供部屋3部屋、4階 に別の方が住んでいました。ほぼ北向きなので太陽は入らない、ネット環境あり、ベッド、大きめの机、	
<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 夜) <input checked="" type="checkbox"/> 外食	
大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> ترام <input type="checkbox"/> 徒歩 <input checked="" type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計： 50 分	
住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	
ترام・メトロは5分程度、電車は20分程度遅れることがしょっちゅうなので、朝が苦手だったり、電車のことで悩まされたくないの であれば大学近くに住むのが良いかもしれません。Mechelenは静かで有名なブランドやスーパーなどありますがマクドナルドが遠かったり と、大学に近いメリットゆえのデメリットもあったように思います。AntwerpenやBruxellesはMechelenよりも大きい都市で栄えて、 Antwerpen-Centraal近辺に住んでいましたが徒歩圏内にスーパー・レストラン・ランドリー・駅・図書館・病院など自分のキャンパス以外 ほぼすべてがあったので、住むのにとっても便利でした。ですがAntwerpen北部は治安が悪いのであまりお勧めしません。	

●滞在先の変更について

留学中に引っ越しや滞在先の変更は行いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下1~10には回答不要)	
1.どのように住居を見つけましたか？	
2.住居の申し込み手順	
3. 費用の合計とその内訳	
費用：	円
内訳：	
4.住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	

5.部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ()
6.ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他 ()
7.設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)			
8.食事	<input type="checkbox"/> 自炊	<input type="checkbox"/> 食事が提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> 外食
9.大学までの通学手段/通学時間			
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> ترام <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()			
通学時間合計: 分			
10.住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等			
Facebookで物件探しをした友達が詐欺にあって大変だったのでそれはやめた方がいいと思います。またKotを探して、大家さんに連絡する際は英語だけでなくオランダ語の翻訳をつけるとレスポンス率が高いという話も聞きました。(ブリュッセル希望ならフランス語の翻訳を…)			

4. 保険への加入

日本で加入した海外傷害保険について	
<input checked="" type="checkbox"/> 大学からの紹介で加入した	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で保険会社を探して加入した <input type="checkbox"/> その他 ()
保険の費用:	79.21 円/ 6 ヵ月分
留学先での保険について	
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があった	<input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険はなかった (以下の質問には回答不要)
<input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があったが、日本で加入した海外傷害保険により免除申請をし認められた	
費用:	約1000 円
具体的な加入手順や支払い方法等:	大学のESNという学生コミュニティが運営しているところで留学生は全員徴収されたと思います。

5. 航空券手配

利用航空会社	Qatar airlines, Finnair
費用	(<input type="checkbox"/> 片道 / <input checked="" type="checkbox"/> 往復) 12万 円
渡航経路	往路: 成田→カタール→ブリュッセル、復路: ブリュッセル→ヘルシンキ→羽田→伊丹
航空券手配方法 ※利用した旅行サイトや旅行会社、比較サイト等があれば記載してください。	
American Airlines(親戚が航空関連で働いているのでお願いしました。)	

6. その他の事前準備

その他、済ませておくべき準備があればお書きください。(現金の両替, 携帯電話解約, 荷物発送等)
携帯電話はsimフリーのiPhoneを普段から使っていたのでそれを持って行きました。格安通信会社を使っていたので一番安いプランに切り替えて解約はせずにしました。現地についてから現地の携帯会社でsimカードを買いました(つまりベルギーでの電話番号を作った)。ですが渡航前にヨーロッパ旅行用のorangeSIMなどをAmazonなどで買って行くと、現地に着いた瞬間からデータ通信が使えるのでかなり安心だと思います。荷物については23Kgのスーツケース1つで行って、服はホストファミリーに沢山借りて行きました。途中で日本の親に6kg分のEMSをお願いしましたが発送してから届くまでに2ヵ月弱かかり、さらに関税を取られたので本当に必要なものか吟味してほしいと思います。ベルギーには基本なんでもありますが、私は寒いのがとても苦手なので貼るカイロを大量に持って行きました(カイロはありましたが、同じクオリティのものは売ってなかったです)

●現地到着後～授業開始までの日程(入学手続き・オリエンテーション・プレイメントテスト等)

項目	内 容		
到着日時	9 月	2 日	17 時
到着空港名	ブリュッセル国際空港		
キャンパスや滞在先への移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> ホストファミリーの出迎え	<input type="checkbox"/> 知人等の出迎え
公共交通機関やタクシーで移動する際の行き方	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> 公共交通機関	<input type="checkbox"/> その他 ()
移動にかかった費用	BRUから最寄り駅まで電車で1500円ぐらいだと思います。		
※以下、授業開始までの日程			
月 日	オリエンテーションが9月12日からスタートし、授業はその1週間後の19日からでした。ヨーロッパの9月はまだ太陽が19:30ぐらいまで沈まないの時差プラス日没の遅さに慣れるのに5日間かかりました…。		
月 日	オリエンテーションではESNと呼ばれる学生団体が運営するウェルカムパーティーや履修する授業の登録、キャンパス案内、Mechelen案内などがありました。必須のものに行っていればシステム上大丈夫ですが、パーティーなどで同じ学部の知り合いなど作れたり、単純に同じ大学の知らない人と話すきっかけになるので色んなイベントに参加して損はしないと思います。		
月 日			
月 日			

●現地到着後の手続き

1. 滞在許可書等の申請

現地で滞在許可書や住民登録等の申請は必要ありますか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 滞在許可書の申請が必要 <input type="checkbox"/> 住民登録の申請が必要 <input type="checkbox"/> 特に必要な手続きは無い (以下の項目には回答不要) <input type="checkbox"/> その他 ()	
必要書類：	パスポート、入学許可書、証明写真(背景がブルーではだめだったので市役所の証明写真機で撮り直しを求められました。)
申請時期：	到着して1週間以内
申請方法：	Antwerpenはオンライン(市によって異なります)
費用：	25€程
取得に要した日数：	2か月 (市役所の予約を1か月後に取り、そこで滞在許可書の申請をし、受け取りの予約をまた取ってその1か月後に取りに行った。)
注意点等：	
銀行口座の開設	
<input checked="" type="checkbox"/> 現地で銀行口座を開設した <input type="checkbox"/> 銀行口座は開設していない (以下の項目には回答不要)	
銀行名：	KBC
必要書類：	パスポート、家の契約書、入学許可書
開設時期：	9月21日
開設方法：	現地に着く前からでも着いてからでもいいですがまずオンラインでフォームを記入します。現地に着いてから、電話で予約をして、後日予約日に直接支店に訪問してその場でカードとアプリの使い方と共に教えてもらいました。
費用：	無料
開設に要した日数：	1カ月程
注意点等：	当初カードがホームステイ先に郵送されるはずだったのですが、後日メールで「予約を取って直接近くの銀行に取りに来てほしい」と言われました。
携帯電話の購入	
<input type="checkbox"/> 現地で携帯電話を購入 <input checked="" type="checkbox"/> 現地でSIMカードを購入 <input type="checkbox"/> 日本でSIMカードを購入 <input type="checkbox"/> 特に何も購入していない (以下の項目には回答不要)	
必要書類：	パスポート
購入時期：	到着日
購入方法：	駅の近くの携帯ショップ(BASEでした)
費用：	8GBで20€ほど払った気がします(色々試しましたが、ヨーロッパ旅行中も気にせずデータを使いたかったのでEU roamingが使えるProximusの格安版のMobile Vikingsの50GB/Month 29€のサブスクリプションに途中で切り替えました。キッチンではデータ通信でないと繋がらなかったなのでこのプランにしていました。
注意点等：	
その他、現地で行った手続きがあれば記載してください。	
<p>Learning Agreement during mobilityをThomas Moreに提出する必要があります。(現地に着く前に提出したものでオリエンテーション期間中に同じ学部の留学生全員で履修登録を行うのですがその際に実際に取ると決めた科目が異なっていることもあると思うので、during mobilityは実際に履修するクラスを登録するようなステップです。これにも自分・京産の国際交流センターのサイン・thomas moreアドバイザー3人のサインが必要です。) その後は何もありません。何か問題があればThomas Moreの方からメールが届くと思うので基本それに対応する形で十分だと思います。</p>	

●留学総費用概算

	金額		備考
授業料	-	円	
宿舍費	268,000	円	夕飯付き・空き部屋・キッチン洗面所シャワーはホストファミリーと共有
食費	113,000	円	主に大学での昼食と外食
教材費等	-	円	
保険費(日本)	79,210	円	6ヶ月分、歯科治療込
保険費(現地)	1,100	円	
医療費	約5000	円	診察費/薬代 保険会社に現在返金申請中
渡航費	120,000	円	(往復、割引金額)
ビザ申請関連費	100,000	円	申請に必要な費用と大使館までの交通費全て込み
予防接種費	なし	円	自分の場合
日用品	35,000	円	主に薬局系
交通費	20,000	円	主に電車賃、定期券
通信費	25,000	円	データ通信
交際費	50,000	円	学校行事・友達とのレジャー
雑費	45,000	円	
合計	856,310	円	近辺のヨーロッパ諸国を旅行したければ、色々な格安サービスを駆使して、留学予算プラス10万ぐらい見込んでおけば十分だと思います。

●現地での決済方法について

現地での主な決済方法を教えてください。
<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード/デビットカード その他 <input type="checkbox"/>)
現地での現金調達はどのように行いましたか？(例：国際キャッシュカードを作成し、現地のATMで引き出した。)
WISE(海外送金サービス)を利用していました。VISAクレジットの€/¥レートが常に悪かったので、現地の銀行(KBC)で口座開設して、ユーロが安くなった時を狙ってまとまったお金を送金して手数料を節約しました。口座開設までに1カ月かかったので9月は河原町のチケットショップトーカイ(レートが良かったので)で両替した100ユーロの現金とクレジットカードで乗り切りました。KBCはアプリ上で友達同士での送金が出来たので割り勘の時とはかなり楽でした。

●健康状態について

現地で病院にかかったことはありますか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)
治療の内容、治療費、海外旅行傷害保険の利用について、病院利用についてのアドバイス 等
熱が1日出た後に、咳が始まり止まらなくなってしまったのでホストファミリーのかかりつけ医を予約してもらって受けました。診察費は28€、薬代は16€。(今保険会社に請求中…) 病院利用の際はいつから咳が止まらないのか1日の中でひどくなるタイミングなどを説明できるように準備しておけば的確な薬をもらえるとと思います。

●現地の治安について

盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことがありますか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)	
詳細：	同じグループメンバーだった男子がブリュッセルで見知らぬ人にネックレスをいきなり引っ張られてちぎって奪われたという話を聞きました。またニュースではコカインにまつわる話や殺人事件など日本と同じように事件自体は毎日起きてました(日本も同じだと思いますが)。自分は中国人とアラブ人が多く住む地域に住んでいましたが治安が悪いと感じることは無かったです。隣のアラブ系の人が住んでいる家と壁が繋がっていたので毎週土曜のパーティーで音楽がめっちゃ漏れ聞こえることとか、自分の上に別の人が住んでいたのでその人の生活音がごく稀に気になる程度で、生活への支障は全くなかった。
対応について：	

●現地では調達できない、日本から持っていくべきものがあれば教えてください。

<p>風邪薬と常備薬は必ず持っていくべきです。3回は風邪ひくと思います笑、カミソリとかもあまり良いのは無いのでヘア系は持っていくのを勧めます。</p> <p>醤油、みそ、などの基本調味料はありますが、ふりかけ・お茶漬け・出汁の素などはなかったり高額だったりするので軽くてかさばらないものなら持っていくと気持ち的に落ち着くと思います。(テスト期間中や風邪ひいたときに役に立ちます。) お隣のドイツには沢山日本の食べ物がありますが、ベルギーにはあまりないのでパスタの素とか簡単にすぐ作れる系の和風のもは持って行っておくとかかなり便利だと思いますよ！</p>
--

●留学先での履修科目について

留学先で取得した単位数合計		credit
	24	ECTS
本学で認定された単位数合計	14?	単位

●履修登録の方法

履修登録の時期	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録	<input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録
	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録	<input type="checkbox"/> 国際センター等の仲介
	<input type="checkbox"/> その他 ()
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 変更できた	<input checked="" type="checkbox"/> 追加できた
<input checked="" type="checkbox"/> 削除できた	<input type="checkbox"/> 変更できない
履修登録の際の注意点等があればお書きください。	
留学前に出すものは仮決定のものでした。到着してからのオリエンテーション中に授業の追加と削除ができました。また初めの1カ月以内ぐらいであれば、トマスモアの担当者との話し合い次第で授業を削ったりできました。	

*以下は留学先で履修した科目ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	Afircan Business Topics
	担当教員名	Paul Nchu
	時間数 (1週間当たり)	2
	授業内容	<p>グループプロジェクトとして自分の興味のある国を1つ選択して、たまたま同じ国を選んだ生徒同士と一緒にすすめる。ただネット上で調べるだけでなく、ベルギーにあるその国の大使館や、各生徒の国に駐在する大使館の人と連絡を取って彼らから直接情報を得ることがワークの必須条件。また作ったグループビデオは教育の目的で先生が持っているYouTubeアカウントにポストされます。</p> <p>2050年以降に最も多くの人口をもつことになるアフリカ(大陸)の文化とビジネスについて学ぶ授業。アフリカに関するKahoot! を毎授業始めに行い、そこで豆知識をつける。そのあと先生のPPTに基づいた授業が行われる。生徒間→代表者発表のミニディスカッションを数回行う。またビジネスに関してはアフリカに限ったことではなく、世界でビジネスをやる際に必要なマナーや気を付けることを知る。文化に関してはステレオタイプに関する話や複数言語・民族がいること、各自自国の文化的な何かについて前で数分プレゼンするものがあったが、多国籍すぎてとても楽しい時間だった。また先生が常にノリノリでクラスのバイブスが毎回よかった。彼の別の授業を取っていた友達もすごく彼を気に入っていたので、彼の授業を取るのはずが、退却に非常に難しかったので授業5分前には教室に着くように計画しておいた方がいい。</p>
	試験・課題等	<p>試験：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 40% within a minimum of 5 minutes group video about the country that your group chose ・ 30% video upload via ABT channel plus (Q&A session) ・ 5% PowerPoint presentation document ・ 5% class participation-Kahoot exercise/game/cultural artifacts exercise) <p>課題：課題が試験そのものになります…</p>
	感想・自己評価等	<p>この授業を月曜日に受けていましたが毎回とても楽しかったので月曜日から大学に行くモチベーションになっていました。自分はフェアトレードとカカオに昨年度興味をもってゼミで学んでいたため、世界最大のカカオ輸出国であるコートジボワールを選択しました。たまたま一緒になったメンバーが良い人ばかりでみんなでご飯に行ったり、仕事もしっかり分担しあって大学生活史上最高のグループワークと言っても過言ではないほど楽しかったです。(個人的な意見です。)また1月のFinal examがないのも目玉だと思います。</p>

	コース名/科目名	Survival Dutch
	担当教員名	Félice Van Hove
	時間数 (1週間当たり)	2
	授業内容	
	私のキャンパスがあったMechelenはベルギー北部=フランドル地方にあるため基本的に町ではDutch(オランダ語)で会話している。生活の面でオランダ語が話せないことで困ることはないが、少しぐらい知っている他クラスのベルギー人の友達と仲良くなるきっかけになったりするので、ちょっとつまんでみようかなという気持ちで受講すれば大丈夫。始まった当初はなじみがなすぎて難しいと感じたが復習をきちんとすれば簡単だった。内容は挨拶・自己紹介・簡単な質問・買い物時に使える言葉、各アルファベットの読み方(英語とは異なる)、数字、曜日、月、年齢、時間、友達とのお出かけの誘い文句、レストランでの注文とクレーム方法、体の部位、簡単な名詞動詞など。とても詳しく勉強する訳ではないが、Dutchが話せる友達はきっとできると思うので彼らに特に発音について聞くのは大事だった。	
2	試験・課題等	
	試験： ・10% recording with Dutch native speaker ・40% Listening test during the classes(3~4回ぐらい) ・50% Speaking test at final exam during the exam term(先生対生徒2人 or 1人)	
	感想・自己評価等	
	先生の授業だけでは足りないので、YouTubeのチャンネルで予習復習するとだいぶ授業についていけるようになります。渡航前にめっちゃ話せるようになる必要は無いですが、発音の違いとか1回ぐらいは聞いてみて英語とどう違うのかななど興味本位で動画を覗いてみるのもありだと思います。ホストファミリー達はオランダ語で話しているのを意味は分からなくとも発音は毎日聞いてはいたので、発音に対する苦労はそこまでなかったですが、アルファベットの読み方が特徴的なのでそこに躓きました。ですがこの授業はSurvivalを目標としているので、聞いて話せればよいので、正確に書ける必要はありません。しっかり取り組みれば理解できます。(日本語と同じで意味の分からない文法ルールがあることもしょっちゅうですがトリッキーな物は授業で習ったとしても、試験で問われないので大丈夫です。)	

	コース名/科目名	Business Fundamentals
	担当教員名	Carla Kayaerts
	時間数 (1週間当たり)	2
	授業内容	
	2回で1つのセオリーを学ぶ。1回目の授業ではセオリーを学んで、2回目の授業は事例を用いたWorkshopになる。学んだセオリーは、Business Model Canvas, Value proposition canvas, Blue ocean strategy, Mission and value, Development, SWOT, about managers, organization's types, VUCA, sustainable management など。ビジネスのストラテジーそのものを国際関係学部で学ぶことは無いので、自分にとって新しい分野で面白かった。事例に関しては授業後に個人で調べてみて、なぜ大企業は大企業になれたのかなど自分で色々調べるきっかけになった。	
3	試験・課題等	
	試験： ・10% 最低3つのMore Seminar(大学に外部講師を呼んで行われるセミナー)に参加し指定のWordファイルに感想を記入し、その3枚を提出する ・90% Final Exam(Multiple choice) 12/20でパス 課題：隔週のワークショップ回のあとに10問ぐらいの振り返りクイズが課される	
	感想・自己評価等	
	出席しなくてもセオリーの部分についてはついていけるかもしれませんが、せっかくなので受けてました(セオリーの回の出席者は少なかったです)。先生があまり積極的な感じではないところが原因だったと思います。それでも自分なりに色々調べたりできる限り出席して、モチベーションを保っていました。	

4	コース名/科目名	Intercultural Communication
	担当教員名	Hans Thomas
	時間数 (1週間あたり)	2
	授業内容	文化の違いから生まれる様々な特徴について学ぶ。例：時間の概念、Masculinity & Feminity, power distance, Individualism & Collectivism, space, 言葉の正確さの重要性、リーダーシップ、エチケット、組織文化、フィードバックの方法、convince, 帰国後のカルチャーショックなどなど。ケーススタディは4人グループで割り振られた1つのケースに取り組む。大体はビジネスにおける文化の違いによって起こるシチュエーションが与えられて、その解決方法や回避法をメンバーで考えpptを作って発表する。ベルギーという土地に数えきれないほどの国から集まった仲間とお互いの文化について学ぶのは貴重な体験だった(生徒自身が幼いころにベルギーに移民としてやって来ているケースやベルギーで生まれ育っていても親が移民1世であったりすることが多いので)。毎授業日本代表としてのコメントが求められたのが、外から日本を見る良いチャンスになった。遅刻に厳しいので5分前には教室に着くように心掛けると良い。
	試験・課題等	試験： <ul style="list-style-type: none"> • 80% final exam with multiple choice, open/closed questions • 10% case presentation in class • 10% team feedback 課題：グループワーク
	感想・自己評価等	先生が日本の独特な文化に興味を持っている方で、宗教がテーマの回で神道について問われたものの自分が詳しくなくてあまりうまく説明できなかったのが悔しかったですが、自分が日本の何を知らないのかに気づけます。とにかく生徒が多国籍で(この授業は特にエラスムス生が多く、生徒の出身国だけで全大陸制覇できるぐらい) 感覚・価値観の違いに毎回驚くことになると思います。

5	コース名/科目名	Sales
	担当教員名	Debby Jossens
	時間数 (1週間あたり)	2
	授業内容	将来営業職として働く際、また顧客と会話する上で必要な営業トークスキルや心構えについて学ぶ。3人メンバーで1グループを作って顧客側と営業側になって実際に営業トークゲームをやってスコアを得ていく。最低でも1カ月2ゲームはプレイした。それが授業内成績の一部になる。その他は例えば、Golden Circle Model, bodu language, Mazlow pyramids, time management asserive communication CRM, Calling tips, PIEなどYouTubeも教材の1つとして使われた。営業職として働く予定がないとしても英語で学んだとしても、通ずるところはあると思う。また営業トークを英語ですするという経験がブレでできるのも面白かった(難しかったが、)。
	試験・課題等	試験：50% 授業内のディスカッションゲームと提出物, 50% Final Exam(Multiple choice) 課題：グループで課題が2回程
	感想・自己評価等	ゲームの得点がスコアになったり、そもそも日本語でも営業トークの練習などやったことが無かったので新鮮でした。海外の営業と日本の営業の違いに気づくこともありましたが、ゲームルールがややこしくて何度も先生とやり取りしていたので根気が要ります。

6	担当教員名	Maarten Jansen
	時間数 (1週間当たり)	2
	授業内容	Entrepreneurialship(起業家精神)を学ぶ。例えば、大衆の認知を得る前にアーリーアダプターと呼ばれるグループをどうやって振り向かせるのか、自分たちから顧客に商品/サービスが届くまでどのような経路をすすむのか、どこにお金がかかるか、どんなPitchが投資家に刺さるか、TAM・SAM・SOMを用いて市場規模について考えるなどなど。起業の方法を学ぶというよりはプロセスとマインドをプレ体験を通して学ぶという感じです。また担当教員によって少し授業が異なるので、私のこのレポートはMr.Jansenの授業についてです。始めの5回の授業は先生のpptに基づく講義。その後、先生が架空で作ったスタートアップ15社から働きたいと思う企業3社、思わない企業3社を選ぶ。基本的に「働きたいと思う会社」として同じ会社を選んだ生徒同士(1グループ3人~10人程度)でそのスタートアップの中の人になりきり、先生とその他の生徒をInvestorと仮定してプレゼン(Pitch)をする。そこで先生からのポジティブ/ネガティブなフィードバックをもらう。それを元に試験では先生対生徒1対1で、同じスタートアップの企業の人にまたなりきってMarketing Plan or Financial PlanのどちらかをPitchする。
	試験・課題等	試験： 40% Class内でのグループプレゼンテーション 40% Final ExamでのPitch(短いプレゼン)と先生への口頭回答 20% Final Examのために準備するmarketing analysisのクオリティ(Final examはOral examでした) 課題：始めの方に入りたいと思う/思わない架空のスタートアップを選んでくるという課題、グループワーク、Final Examのために用意するマーケティングプラン
	感想・自己評価等	日本の大学でもなかなかないのかもしれませんが、もともとはヨーロッパの若者の起業志望率が低いことがきっかけで近年始まった授業だそうです。Jansen先生は今までの経歴は企業に勤めたり、社内起業したりなど先生としては今年が初めてでした。Oral examと聞いたときは震えましたが、しっかり準備して友達と助け合えば問題なかったです。

7	コース名/科目名	Marketing Fundamentals
	担当教員名	Wim Govaerts
	時間数 (1週間当たり)	2
	授業内容	マーケティングの基礎について学ぶ。例えば、Customer-driven marketing strategy(segmentation, targeting, differentiation, positioning), 顧客について理解する, BCG growth-share marketing, マーケットシェアについて, マーケット分析の方法, buying behaviors, products/servicesの定義, supply & demand, marketing channels, pricingなど。たまにグループディスカッションがあったが基本講義形式で毎授業何かしらのアンケートを取って、その結果をもとに授業がまたすすんでいく。マーケティングに関する知識を専門的に学ぶのは国際関係学部で行われないので新鮮だった。この授業も学んだ知識を帰国後の学びに生かせると思う。
	試験・課題等	試験：100% Final Exam(Multiple choice) 課題：なし
	感想・自己評価等	授業自体も興味深かったですが、事例として取り上げられるヨーロッパではおなじみの企業が自分にとってはあまりにもなじみがなさ過ぎて、そもそも何の起業だろう？という所からスタートすることもありました。友達に聞いたり、先生に聞いたり、調べたりしてキャッチアップしてました。基本的なことばかりですが、いざゼオリーとして学ぶと仕組みが明らかになるので面白かったです。また人間の消費行動を読むのに企業は昔から躍起になっているということでしたが、人を振り向かせるきっかけが日本と海外ではプロセスが異なるのか？CMのユーモアさは？など色々考えることが多かったので個人的には面白かった授業でした。

